

(湯島・夢の島づくり会青年部) 空き家リノベーションプロジェクト事業

概要：近年湯島では観光客が増加傾向にあるが、観光客を受け入れる施設が不足しており、島の情報をうまく発信できていない。湯島・夢の島づくり会青年部や熊本大学建築学科の学生と会議を進める中で現在島に必要な機能として観光案内所、イベントスペース、マンガミュージアム、カフェ、お土産屋が挙げられた。そこで、湯島の観光の拠点として、これらを統括した湯島の魅力を発信するアンテナショップを整備することで、さらなる湯島の魅力を伝えるとともに観光客などに対する経済的効果をもたらせることで活性化を図る。

事業の内容

カフェやお土産屋、観光案内所の不足という課題に対し、空き家であった湯島・夢の島づくり会の事務所のリノベーションを行い、アンテナショップとしての利活用の計画及び施工を行う。地域住民と学生、活性化事業関係者と産官学連携し、“島の将来”や“空き家”の利用方法を考える。

総事業費 1,623 千円（まちづくり助成金 700 千円、クラウドファンディングによる資金調達 811 千円、自己資金 112 千円）

ポイント

○本プロジェクトは、地域住民と熊本大学 田中智之研究室の学生、活性化事業関係者（地域おこし協力隊、夢の島づくり会等）が産官学連携で行うプロジェクト。湯島の活性化を目標に何度も会議を行い、島民の提案、要望などや学生の専門分野である建築の専門知識などを共有しながら行った事業である。

事業の成果：情報発信拠点としての建物を整備することができた。これから運用することで、観光客が休憩できる場所が増え、さらなる観光客の増加とそれに伴う島の人的・経済的な活性化を図ることができる。また、ただ休憩できる場所ではなく、湯島の情報発信の場でもあるため、より観光客に湯島の魅力を知ってもらうことができる。

また、この事業として初めての建物のリノベーションを達成することができた。これを起点にこの事業自体盛り上げていくことができると思われる。

改修前



改修後

